

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 11 月 10 日 (2016.11.10)

【公表番号】特表 2015-536611 (P2015-536611A)

【公表日】平成 27 年 12 月 21 日 (2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2015-080

【出願番号】特願 2015-539658 (P2015-539658)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 16/02 (2009.01)

H 0 4 W 16/32 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 1

H 0 4 W 16/02

H 0 4 W 16/32

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 9 月 16 日 (2016.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信の方法であって、

マクロノードの動作特性に従って複数のマクロセットを形成することと、

前記複数のマクロセットのうちの少なくとも 1 つのアクティブマクロセットからのデータを含む少なくとも 1 つの擬似オールモストブランクサブフレーム (A B S) を形成することと、

範囲拡大リソースによって使用されることになるパーティションを与えるために複数のサブフレームを区分することと、ここにおいて前記区分された複数のサブフレームのうちの少なくとも 1 つのサブフレームが、前記形成された擬似 A B S のうちの少なくとも 1 つを含む、

を備える、方法。

【請求項 2】

前記動作特性が前記マクロノードのセクタ化を含み、前記方法は、

前記マクロノードに対応する複数のセクタを指定することをさらに備え、ここにおいて前記複数のマクロセットが、前記指定された複数のセクタに対応して形成される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ピコノードが擬似 A B S 内でのユーザ機器への送信をスケジュールすることをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが A B S と擬似 A B S の両方を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが、複数のマクロセットを有する複数の擬似 A B S を含む、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 6】**

範囲拡大UEのプロパティに対応するデータを受信することと、  
前記受信されたデータに少なくとも部分的に基づいて擬似ABS中でどのマクロセットがアクティブになるかを判断することと  
をさらに備える、請求項1に記載の方法。

**【請求項 7】**

範囲拡大UEのプロパティに対応する前記受信されたデータが、前記UEの干渉消去能力に関するデータと、1つまたは複数のセルからの観測された信号電力データとのうちの少なくとも1つを含む、請求項6に記載の方法。

**【請求項 8】**

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、  
マクロノードの動作特性に従って複数のマクロセットを形成するための手段と、  
前記複数のマクロセットのうちの少なくとも1つのアクティブマクロセットからのデータを含む少なくとも1つの擬似ABSを形成するための手段と、  
範囲拡大リソースによって使用されることになるパーティションを与えるために複数のサブフレームを区分するための手段と、ここにおいて前記区分された複数のサブフレームのうちの少なくとも1つのサブフレームが、前記形成された擬似ABSのうちの少なくとも1つを含む、  
を備える、装置。

**【請求項 9】**

前記動作特性が前記マクロノードのセクタ化を含み、前記装置は、  
前記マクロノードに対応する複数のセクタを指定するための手段をさらに備え、ここにおいて前記複数のマクロセットが、前記指定された複数のセクタに対応して形成される、  
請求項8に記載の装置。

**【請求項 10】**

擬似ABS内での範囲拡大ユーザ機器への送信をスケジュールするための手段をさらに備える、請求項8に記載の装置。

**【請求項 11】**

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションがABSと擬似ABSの両方を含む、  
請求項8に記載の装置。

**【請求項 12】**

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが、複数のマクロセットを有する複数の擬似ABSを含む、請求項8に記載の装置。

**【請求項 13】**

範囲拡大UEのプロパティに対応するデータを受信するための手段と、  
前記受信されたデータに少なくとも部分的に基づいて擬似ABS中でどのマクロセットがアクティブになるかを判断するための手段と  
をさらに備える、請求項8に記載の装置。

**【請求項 14】**

範囲拡大UEのプロパティに対応する前記受信されたデータが、前記UEの干渉消去能力に関するデータと、1つまたは複数のセルからの観測された信号電力データとのうちの少なくとも1つを含む、請求項13に記載の装置。

**【請求項 15】**

請求項1乃至7のうちの1つの方法の全てのステップを実装するようにコンピュータ実行可能であるプログラム命令を備える、コンピュータプログラム。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0106

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 1 0 6 】

[00115]本開示についての以上の説明は、いかなる当業者も本開示を作成または使用することができるように与えたものである。本開示への様々な修正は当業者には容易に明らかとなり、本明細書で定義した一般原理は、本開示の趣旨または範囲から逸脱することなく他の変形形態に適用され得る。したがって、本開示は、本明細書で説明した例および設計に限定されるものではなく、本明細書で開示した原理および新規の特徴に合致する最も広い範囲を与えられるべきである。

以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

## [ C 1 ]

ワイヤレス通信の方法であって、  
マクロノードの動作特性に従って複数のマクロセットを形成することと、  
前記複数のマクロセットのうちの少なくとも1つのアクティブマクロセットを含む少なくとも1つの擬似オールモストブランクサブフレーム ( A B S ) を形成することと、  
範囲拡大リソースによって使用されることになるパーティションを与えるために複数のサブフレームを区分することと、  
ここにおいて前記区分された複数のサブフレームのうちの少なくとも1つのサブフレームが、前記形成された擬似 A B S のうちの少なくとも1つを含む、  
を備える、方法。

## [ C 2 ]

前記動作特性が前記マクロノードのセクタ化を含み、前記方法は、  
前記マクロノードに対応する複数のセクタを指定することをさらに備え、  
ここにおいて前記複数のマクロセットが、前記指定された複数のセクタに対応して形成される、  
C 1 に記載の方法。

## [ C 3 ]

ピコノードが擬似 A B S 内でのユーザエンティティへの送信をスケジュールすることをさらに備える、C 1 に記載の方法。

## [ C 4 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが A B S と擬似 A B S の両方を含む、  
C 1 に記載の方法。

## [ C 5 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが、複数のマクロセットを有する複数の擬似 A B S を含む、C 1 に記載の方法。

## [ C 6 ]

範囲拡大 U E のプロパティに対応するデータを受信することと、  
前記受信されたデータに少なくとも部分的に基づいて擬似 A B S 中でどのマクロセットがアクティブになるかを判断することと  
をさらに備える、C 1 に記載の方法。

## [ C 7 ]

範囲拡大 U E のプロパティに対応する前記受信されたデータが、前記 U E の干渉消去能力に関するデータと、1つまたは複数のセルからの観測された信号電力データとのうちの少なくとも1つを含む、C 6 に記載の方法。

## [ C 8 ]

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、  
マクロノードの動作特性に従って複数のマクロセットのための手段と、  
前記複数のマクロセットのうちの少なくとも1つのアクティブマクロセットを含む少なくとも1つの擬似 A B S を形成するための手段と、  
範囲拡大リソースによって使用されることになるパーティションを与えるために複数のサブフレームを区分するための手段と、  
ここにおいて前記区分された複数のサブフレームのうちの少なくとも1つのサブフレームが、前記形成された擬似 A B S のうちの少なくとも1つを含む、

を備える、装置。

[ C 9 ]

前記動作特性が前記マクロノードのセクタ化を含み、前記装置は、

前記マクロノードに対応する複数のセクタを指定するための手段をさらに備え、ここにおいて前記複数のマクロセットが、前記指定された複数のセクタに対応して形成される、C 8 に記載の装置。

[ C 1 0 ]

擬似 A B S 内での範囲拡大ユーザエンティティへの送信をスケジュールするための手段をさらに備える、C 8 に記載の装置。

[ C 1 1 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが A B S と擬似 A B S の両方を含む、C 8 に記載の装置。

[ C 1 2 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが、複数のマクロセットを有する複数の擬似 A B S を含む、C 8 に記載の装置。

[ C 1 3 ]

範囲拡大 U E のプロパティに対応するデータを受信するための手段と、

前記受信されたデータに少なくとも部分的に基づいて擬似 A B S 中でどのマクロセットがアクティブになるかを判断するための手段とをさらに備える、C 8 に記載の装置。

[ C 1 4 ]

範囲拡大 U E のプロパティに対応する前記受信されたデータが、前記 U E の干渉消去能力に関するデータと、1 つまたは複数のセルからの観測された信号電力データとのうちの少なくとも1つを含む、C 1 3 に記載の装置。

[ C 1 5 ]

ワイヤレスネットワークにおけるワイヤレス通信のためのコンピュータプログラム製品であって、

プログラムコードを記録した非一時的コンピュータ可読媒体を備え、前記プログラムコードは、

コンピュータに、

マクロノードの動作特性に従って複数のマクロセットを形成することと、

前記複数のマクロセットのうちの少なくとも1つのアクティブマクロセットを含む少なくとも1つの擬似 A B S を形成することと、

範囲拡大リソースによって使用されることになるパーティションを与えるために複数のサブフレームを区分することと、ここにおいて前記区分された複数のサブフレームのうちの少なくとも1つのサブフレームが、前記形成された擬似 A B S のうちの少なくとも1つを含む、

を行わせるプログラムコード

を含む、コンピュータプログラム製品。

[ C 1 6 ]

前記動作特性が前記マクロノードのセクタ化を含み、前記プログラム製品が、前記マクロノードに対応する複数のセクタを指定するためのプログラムコードをさらに備え、ここにおいて前記複数のマクロセットが、前記指定された複数のセクタに対応して形成される、C 1 5 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 7 ]

コンピュータに擬似 A B S 内でのユーザエンティティへの送信をスケジュールさせるプログラムコードをさらに備える、C 1 5 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 8 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが A B S と擬似 A B S の両方を含む、C 1 5 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 9 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが、複数のマクロセットを有する複数の擬似 A B S を含む、C 1 5 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 2 0 ]

コンピュータに、

範囲拡大 U E のプロパティに対応するデータを受信することと、

前記受信されたデータに少なくとも部分的に基づいて擬似 A B S 中でどのマクロセットがアクティブになるかを判断することと  
を行わせるプログラムコードをさらに備える、C 1 5 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 2 1 ]

範囲拡大 U E のプロパティに対応する前記受信されたデータが、前記 U E の干渉消去能力に関するデータと、1 つまたは複数のセルからの観測された信号電力データとのうちの少なくとも 1 つを含む、C 1 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 2 2 ]

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、前記装置が、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに結合されたメモリと  
を備え、

ここにおいて前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

マクロノードの動作特性に従って複数のマクロセットを形成することと、

前記複数のマクロセットのうちの少なくとも 1 つのアクティブマクロセットを含む少なくとも 1 つの擬似 A B S を形成することと、

範囲拡大リソースによって使用されることになるパーティションを与えるために複数のサブフレームを区分することと、ここにおいて前記区分された複数のサブフレームのうちの少なくとも 1 つのサブフレームが、前記形成された擬似 A B S のうちの少なくとも 1 つを含む、

を行うように構成された、  
装置。

[ C 2 3 ]

前記動作特性が前記マクロノードのセクタ化を含み、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記マクロノードに対応する複数のセクタを指定するようにさらに構成され、ここにおいて前記複数のマクロセットが、前記指定された複数のセクタに対応して形成される、C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 4 ]

前記プロセッサが、擬似 A B S 内でのユーザエンティティへの送信をスケジュールするようにさらに構成された、C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 5 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが A B S と擬似 A B S の両方を含む、C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 6 ]

前記範囲拡大リソースのための前記パーティションが、複数のマクロセットを有する複数の擬似 A B S を含む、C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 7 ]

前記プロセッサが、

範囲拡大 U E のプロパティに対応するデータを受信することと、

前記受信されたデータに少なくとも部分的に基づいて擬似 A B S 中でどのマクロセットがアクティブになるかを判断することと  
を行うようにさらに構成された、C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 8 ]

範囲拡大UEのプロパティに対応する前記受信されたデータが、前記UEの干渉消去能力に関するデータと、1つまたは複数のセルからの観測された信号電力データとの中の少なくとも1つを含む、C 2 7に記載の装置。

[ C 2 9 ]

ワイヤレス通信の方法であって、  
ユーザエンティティがマクロノードに干渉情報を与えることと、  
ピコノードによってスケジュールされた通信を受信することと、ここにおいて前記通信が、マクロノードからのデータの少なくとも1つのマクロセットに対応する情報を含む疑似ABS上で搬送される、  
を備える、方法。

[ C 3 0 ]

前記少なくとも1つのマクロセット中に含まれる情報に対応する干渉を消去することをさらに備える、C 2 9に記載の方法。

[ C 3 1 ]

前記少なくとも1つのマクロセットが、マクロノードからの制限されたデータ送信を含む、C 3 0に記載の方法。

[ C 3 2 ]

前記データが、あらかじめ選択された優先度を有するデータを含むように制限される、C 3 1に記載の方法。

[ C 3 3 ]

前記データが、あらかじめ選択された送信モードを有するデータを含むように制限される、C 3 1に記載の方法。

[ C 3 4 ]

前記あらかじめ選択された送信モードがTM3モードとTM3/4モードとのうちの1つである、C 3 3に記載の方法。

[ C 3 5 ]

前記データが、最小トラフィック対パイロット比を有するデータを含むように制限される、C 3 1に記載の方法。

[ C 3 6 ]

前記データが、指定された変調およびコーディングプロパティを有するデータを含むように制限される、C 3 1に記載の方法。

[ C 3 7 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティの干渉消去能力に係する情報を含む、C 2 9に記載の方法。

[ C 3 8 ]

前記干渉消去能力は、送信の制限タイプと、前記ユーザエンティティが消去することが可能な送信の数とのうちの1つまたは複数を含む、C 3 7に記載の方法。

[ C 3 9 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティによって観測された干渉信号に係する情報を含む、C 2 9に記載の方法。

[ C 4 0 ]

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、  
ユーザエンティティがマクロノードに干渉情報を与えるための手段と、  
ピコノードによってスケジュールされた通信を受信するための手段と、ここにおいて前記通信が、マクロノードからのデータの少なくとも1つのマクロセットに対応する情報を含む疑似ABS上で搬送される、  
を備える、装置。

[ C 4 1 ]

前記少なくとも1つのマクロセット中に含まれる情報に対応する干渉を消去するための

手段をさらに備える、C 4 0 に記載の装置。

[ C 4 2 ]

前記少なくとも 1 つのマクロセットが、マクロノードからの制限されたデータ送信を含む、C 4 1 に記載の装置。

[ C 4 3 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティの干渉消去能力に関する情報を含む、C 4 0 に記載の装置。

[ C 4 4 ]

前記干渉消去能力は、送信の制限タイプと、前記ユーザエンティティが消去することが可能な送信の数とのうちの 1 つまたは複数を含む、C 4 3 に記載の装置。

[ C 4 5 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティによって観測された干渉信号に関する情報を含む、C 4 0 に記載の装置。

[ C 4 6 ]

ワイヤレスネットワークにおけるワイヤレス通信のためのコンピュータプログラム製品であって、

プログラムコードを記録した非一時的コンピュータ可読媒体を備え、前記プログラムコードは、

コンピュータに、

ユーザエンティティがマクロノードに干渉情報を与えることと、

ピコノードによってスケジュールされた通信を受信することと、ここにおいて前記通信が、マクロノードからのデータの少なくとも 1 つのマクロセットに対応する情報を含む疑似 A B S 上で搬送される、

を行わせるためプログラムコード

を含む、コンピュータプログラム製品。

[ C 4 7 ]

コンピュータに前記少なくとも 1 つのマクロセット中に含まれる情報に対応する干渉を消去させるコードさらに備える、C 4 6 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 4 8 ]

前記少なくとも 1 つのマクロセットが、マクロノードからの制限されたデータ送信を含む、C 4 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 4 9 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティの干渉消去能力に関する情報を含む、C 4 6 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 5 0 ]

前記干渉消去能力は、送信の制限タイプと、前記ユーザエンティティが消去することが可能な送信の数とのうちの 1 つまたは複数を含む、C 4 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 5 1 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティによって観測された干渉信号に関する情報を含む、C 4 6 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 5 2 ]

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、前記装置が、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに結合されたメモリと

を備え、

ここにおいて前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

ユーザエンティティがマクロノードに干渉情報を与えることと、

ピコノードによってスケジュールされた通信を受信することと、ここにおいて前記通

信が、マクロノードからのデータの少なくとも1つのマクロセットに対応する情報を含む  
擬似 A B S 上で搬送される、  
を行うように構成された、  
装置。

[ C 5 3 ]

前記プロセッサが、前記少なくとも1つのマクロセット中に含まれる情報に対応する干  
渉を消去するようにさらに構成された、C 5 2 に記載の装置。

[ C 5 4 ]

前記少なくとも1つのマクロセットが、マクロノードからの制限されたデータ送信を含  
む、C 5 3 に記載の装置。

[ C 5 5 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティ  
の干渉消去能力に関する情報を含む、C 5 2 に記載の装置。

[ C 5 6 ]

前記干渉消去能力は、送信の制限タイプと、前記ユーザエンティティが消去することが  
可能な送信の数とのうちの1つまたは複数を含む、C 5 5 に記載の装置。

[ C 5 7 ]

前記ユーザエンティティによって与えられた前記干渉情報が、前記ユーザエンティティ  
によって観測された干渉信号に関する情報を含む、C 5 2 に記載の装置。

[ C 5 8 ]

ワイヤレス通信の方法であって、  
マクロノードから複数のサブフレームへのアクセスを受信することと、ここにおいて前  
記複数のサブフレームのうちの少なくとも1つが、マクロノードからのデータの少なくと  
も1つのマクロセットに対応する情報を含む擬似 A B S を含む、  
範囲拡大ユーザエンティティによって使用されるように前記少なくとも1つの擬似 A B  
S をスケジュールすることと  
を備える、方法。

[ C 5 9 ]

マクロノードに干渉情報を与えることをさらに備える、C 5 8 に記載の方法。

[ C 6 0 ]

干渉情報が、1つまたは複数の範囲拡大ユーザエンティティの干渉消去能力に関する  
情報を含む、C 5 9 に記載の方法。

[ C 6 1 ]

前記少なくとも1つの擬似 A B S をスケジュールすることが、  
マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第1のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように少なくとも1つのユーザエンティティをスケジュールすることと、  
マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第2のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように異なるユーザエンティティをスケジュールすることと  
を含む、C 5 9 に記載の方法。

[ C 6 2 ]

マクロノードから更新された複数のサブフレームを受信することと、  
前記受信された複数のサブフレームの変化にตอบสนองしてスケジュールリングプロシー  
ジャを更新することと  
をさらに備える、C 5 8 に記載の方法。

[ C 6 3 ]

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、  
マクロノードから複数のサブフレームへのアクセスを受信するための手段と、ここにお  
いて前記複数のサブフレームのうちの少なくとも1つが、マクロノードからのデータの少  
なくとも1つのマクロセットに対応する情報を含む擬似 A B S を含む、  
範囲拡大ユーザエンティティによって使用されるように前記少なくとも1つの擬似 A B



S をスケジュールするための手段と  
を備える、装置。

[ C 6 4 ]

マクロノードに干渉情報を与えるための手段をさらに備える、C 6 3 に記載の装置。

[ C 6 5 ]

干渉情報が、1 つまたは複数の範囲拡大ユーザエンティティの干渉消去能力に関する  
情報を含む、C 6 4 に記載の装置。

[ C 6 6 ]

前記少なくとも 1 つの擬似 A B S をスケジュールするための手段が、

マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第 1 のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように少なくとも 1 つのユーザエンティティをスケジュールするための手段と、

マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第 2 のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように異なるユーザエンティティをスケジュールするための手段と  
を含む、C 6 4 に記載の装置。

[ C 6 7 ]

マクロノードから更新された複数のサブフレームを受信するための手段と、

前記受信された複数のサブフレームの変化に応答してスケジューリングプロシージャを  
更新するための手段と

をさらに備える、C 6 3 に記載の装置。

[ C 6 8 ]

ワイヤレスネットワークにおけるワイヤレス通信のためのコンピュータプログラム製品  
であって、

プログラムコードを記録した非一時的コンピュータ可読媒体を備え、前記プログラムコ  
ードは、

コンピュータに、

マクロノードから複数のサブフレームへのアクセスを受信することと、ここにおいて  
前記複数のサブフレームのうちの少なくとも 1 つが、マクロノードからのデータの少なく  
とも 1 つのマクロセットに対応する情報を含む擬似 A B S を含む、

範囲拡大ユーザエンティティによって使用されるように前記少なくとも 1 つの擬似 A  
B S をスケジュールすることと

を行わせるプログラムコード

を含む、コンピュータプログラム製品。

[ C 6 9 ]

コンピュータに、マクロノードに干渉情報を与えさせるプログラムコードをさらに備え  
る、C 6 8 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 7 0 ]

干渉情報が、1 つまたは複数の範囲拡大ユーザエンティティの干渉消去能力に関する  
情報を含む、C 6 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 7 1 ]

コンピュータに前記少なくとも 1 つの擬似 A B S をスケジュールさせるプログラムコー  
ドが、コンピュータに、

マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第 1 のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように少なくとも 1 つのユーザエンティティをスケジュールすることと、

マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第 2 のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように異なるユーザエンティティをスケジュールすることと  
を行わせるコードを含む、C 6 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 7 2 ]

コンピュータに、

マクロノードから更新された複数のサブフレームを受信することと、

前記受信された複数のサブフレームの変化に応答してスケジューリングプロシージャを

更新することと

を行わせるプログラムコードをさらに備える、C 6 8 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 7 3 ]

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、前記装置が、  
少なくとも1つのプロセッサと、

前記少なくとも1つのプロセッサに結合されたメモリと  
を備え、

ここにおいて前記少なくとも1つのプロセッサは、

マクロノードから複数のサブフレームへのアクセスを受信することと、ここにおいて  
前記複数のサブフレームのうちの少なくとも1つが、マクロノードからのデータの少なく  
とも1つのマクロセットに対応する情報を含む擬似 A B S を含む、

範囲拡大ユーザエンティティによって使用されるように前記少なくとも1つの擬似 A  
B S をスケジュールすることと

を行うように構成された、  
装置。

[ C 7 4 ]

前記プロセッサが、マクロノードに干渉情報を与えるようにさらに構成された、C 7 3  
に記載の装置。

[ C 7 5 ]

干渉情報が、1つまたは複数の範囲拡大ユーザエンティティの干渉消去能力に関する  
情報を含む、C 7 4 に記載の装置。

[ C 7 6 ]

前記プロセッサが、

マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第1のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように少なくとも1つのユーザエンティティをスケジュールすることと、

マクロノードからのデータのマクロセットのうちの第2のセットを有する擬似 A B S を  
利用するように異なるユーザエンティティをスケジュールすることと  
を行うようにさらに構成された、C 7 4 に記載の装置。

[ C 7 7 ]

前記プロセッサが、

マクロノードから更新された複数のサブフレームを受信することと、

前記受信された複数のサブフレームの変化にตอบสนองしてスケジューリングプロシージャを  
更新することと

を行うようにさらに構成された、C 7 3 に記載の装置。